

任期制自衛官の声



Riku Takeyama
竹山 陸 様

Shift Assistant

勤務地：東京品川DS

航空自衛隊にて任期満了退職

Q 自衛隊の経験が生かされていることは何でしょうか？

自衛隊時代は、情報収集が重要でしたが、Amazonでも危険箇所の改善や従業員のメンタルケアなど、情報収集と対応力が重要です。「コミュニケーション力」、「計画立案」と「実行管理能力」、D&Iの観点からの「多様性への理解」が、自衛隊での経験から活かされています。自衛隊では年齢や背景の異なる隊員と接する機会が多く、PWD（障害を持つ方々）の理解にも繋がっています。スムーズに長く働ける環境を作れていると感じています。また、日々新しい機器が導入されたりと私自身も新しい環境が増え、変化し続けています。今度、私のところには、ベトナム、ネパール、中国の方が新しくチームに入りますが、その方たちの言語に合わせたものを準備し、働く環境を作っていく予定なのですがそれを準備するのが楽しいです。それはきっと他社ではチャレンジできないことですし、負担ではなく、刺激になります。自身の性格とAmazonの環境がそうさせているのかもしれないが、とにかくチャレンジが楽しいです。自衛隊でも、「そこでしかできないような経験がある」と思うが、それに近いものがずっと続いているような新鮮な気持ちであり、自衛隊の経験があるからチャレンジもできています。

また、Amazonでは、自分が働いている職場の上司とは別に元自衛隊のネットワークがあり、その自衛隊の先輩と相談できる環境が構築されています。実際、気軽に先輩に相談できているため、それは何よりも心強いですし、幸せなぐらい良いことですね。これは、ちょうど3日前の出来事なのですが、上司に「こうしてみてもどうか？」と提案をしてみたところ、「やろう、いいじゃん」となんと1時間後に返信がきました。そこで「自分がこの件のリーダーをする」と申し出ると、昨日には上層の方の話し合いに発展しており、そして今まさに実際に自分がリーダーとして、進行しているところです。こんなにもスピーディーで、自分自身が責任を持ってできる機会を持てることは、なかなか無いことです。ボトムアップで、自分のような入社2年目のぐらいの人間が意見を言ったとしても、責任を持って上司が判断してくれます。いいものを提案し、またそこに自分が責任を持って取り組む環境があります。そこがとてもいいところだと思います。実際にレスポンスが早いことが限りなくモチベーションにも繋がりますし、非常にありがたいところです。



Q 今後の目標は何でしょうか？

私自身がシフトアシスタントとして1年経って、ある程度の学びを得たので、今後は、新しく入社してくる方々に対して、こちら側から積極的なトレーニングをしようと考えております。トレーニングを受ける側となると、どうしても性格的に受け身になる方がいます。社会人として自衛隊とまた違う環境に飛び込んでいき、わからないことを聞くのもちょっと難しいなど感じると思います。そんな不安を取り除けるようなトレーニングを試みようと思います。

Q 今後退職を迎える現役自衛官へ何かアドバイスはありますか？

私のアドバイスとしては、「再就職することは、思ったよりリスクはないよ」ということを伝えたいですね。私は、Amazonに入社して、シフトアシスタントに就くことができました。もし仮に仕事が合わなかったとしても、Amazonは大きい組織なので、他の部署にも異動することも相談した上で可能だと思います。

自分に仕事が合わなかったらそういった相談もできる環境も整っています。もちろん年齢にもよりますが、民間企業へ入社して合わないと感じたら、せっかく自衛隊は今32歳まで戻れる環境が整っているののでいったん自衛隊に戻るのも立派な人生の選択肢です。自衛隊に戻ることを決めてネガティブに捉えることはないと思います。自分のやりたい仕事を自分が納得するまで徹底してやってみてから、自衛隊に戻られた方と自衛隊でずっと勤務し続けた方とを比較した際に、同じ年齢であっても人生における経験値が段違いに異なると思います。

年齢を重ねていく中で、いつか何か他の仕事してみたら良かったなと後悔するぐらいであれば、1回思い切ってそのやりたい仕事を経験してみて、納得した上で自衛隊戻ったら絶対に満足度が高いと思います。やりたい仕事を経験できる、広い視野で見れると思います。それぐらい自衛隊には「戻れる」という大きなメリットをもったホームなので、もっと自分自身に活かしてほしいです。

